

令和6年度 事前評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	ため池防災事業（新池地区）	
担当部署	環境農林水産部 中部農と緑の総合事務所 耕地課（連絡先 072-994-1515）	
事業箇所	枚方市春日野	
事業目的	<p>新池は、枚方市春日北町地区の農地 9.2ha を灌漑している重要な農業用水源施設であり、農業経営上欠くことのできない存在である。築堤後の経過年数は不明である。</p> <p>数十年前に地元管理者が堤体上流側に補強矢板を設置するなど、従来よりため池の維持管理に万全を期してきたが、一部の堤体において、経年劣化により腐食等が進んでいた補強矢板の倒伏、クラックや崩壊が発生し、漏水が生じたことから、堤体決壊等による被害を防ぐため貯留水の緊急放流を行った。洪水時には漏水や越水により破堤する危険性が高くなっているため、以来、貯水を行っておらず、水源としての機能が喪失したままとなっている。</p> <p>堤体は、変形や円弧滑り計算での安全率の低下がみられ、非常に危険な状態である。</p> <p>取水施設は、経年劣化による躯体のひび割れ等、老朽化の進行や、緊急放流ゲート及び手摺等安全施設の不備も見受けられる。</p> <p>余水吐は通水断面不足により計画洪水量の流下に必要な能力を有していない状況にある。</p> <p>よって、農業用ため池としての機能回復および堤体決壊によるため池下流地域への被害を未然に防止する防災上の観点から早期に改修する必要がある。</p>	
事業内容	堤体工 L=180.0m（前刃金工法） 取水施設工 2カ所 余水吐工 1カ所 仮設工 1式	
事業費	全体事業費：約 2.4 億円 〔国：1.32 億円、府：0.82 億円、市：0.26 億円〕 （内訳）工事費 2.19 億円 測量試験費 0.17 億円 補償費 0.01 億円	
	<b>【事業費の積算根拠】</b> 既存資料及び現地での調査・測量結果を基に堤体等の標準断面を定め、工事数量を算定したのち、積上げにより事業費を算出。	<b>【工事費の内訳】</b> 堤体工 約 1.60 億円 取水施設工 約 0.47 億円 余水吐工 約 0.09 億円 仮設工 約 0.03 億円
事業費の変動要因	<b>【他事業者との協議状況】</b> 該当なし <b>【今後の事業費変動要因の予測】</b> 池内の仮設道路着手時の固化材の配合量の増加が生じた場合、事業費が変動する可能性がある。	
維持管理費	なし （本施設は工事完了後、春日水利組合に引き渡すため、大阪府の維持管理に係る費用負担はない。）	
関連事業	なし	

2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	○ 大阪府ため池防災・減災アクションプラン（R4.3） ○ 大阪府地域防災計画（R4.12） ○ おおさか農政アクションプラン（R4.3）																														
優先度	○ 本ため池は防災重点ため池 C 級に位置づけされている。 ○ 本ため池は堤体にクラックや崩壊が発生するなど損傷が激しく、取水施設及び余水吐等の施設も老朽化が著しいため、農業用ため池としての機能回復、堤体決壊によるため池下流地域への被害を未然に防止する防災上の観点から早期に改修する必要がある。																														
事業を巡る社会経済情勢等	<p><b>【枚方市の状況】</b></p> <p>○ 枚方市は、大阪市と京都市のほぼ中央部にあたる大阪北東部に位置し、東の生駒山地と西に流れている淀川に囲まれており、市の東側は生駒山地に至る山地、市の中心部から西は大阪平野の北東端となっており、鉄道や道路により、大阪都心部からの交通アクセスが充実している。</p> <p>○ 年間平均気温 16.5℃前後、年間降水量 1,306mm 前後と比較的温暖で瀬戸内気候に属している。こうした都市近郊の立地条件と温暖な気候条件から、水稻の他、だいこん、トマトの生産が行われている。</p> <p>○ 農業の推移（近畿農林水産統計年報より）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>耕地面積</th> <th>農家数</th> <th>稲作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015 年</td> <td>501ha</td> <td>469 戸</td> <td>445ha</td> </tr> <tr> <td>2020 年</td> <td>468ha</td> <td>364 戸</td> <td>406ha</td> </tr> <tr> <td>対 2015 年比</td> <td>△33ha</td> <td>△105 戸</td> <td>△39ha</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【ため池の現況】</b></p> <p>○ 諸元</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>堤高</th> <th>堤長</th> <th>貯水量</th> <th>満水面積</th> <th>受益面積</th> <th>受益戸数</th> <th>被災受益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.6m</td> <td>320.0m</td> <td>33.3 千 m<sup>3</sup></td> <td>1.7ha</td> <td>9.2ha</td> <td>48 戸</td> <td>43.7ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 堤体上流側には補強矢板が設置されているが、南側 180m について、経年劣化により変形・腐食が進んでいた矢板の倒伏、堤体のクラックや崩壊が発生し、貯水機能に支障をきたしている。</p> <p>○ 堤体の断面変形率は 5.4%（要改修の判定事項 5.0% 以上）となっている。</p> <p>○ 現況堤体を対象とした円弧滑り計算では、常時満水時の最小安全率が上流 0.459、下流 0.709 と、1.0 未満となっている。</p> <p>○ 取水施設は、経年劣化による躯体のひび割れ等、老朽化の進行や、緊急放流ゲート及び安全施設の不備も見受けられる。</p> <p>○ 余水吐は通水断面不足により計画洪水量の流下に必要な能力を有していない状況にあり、計画洪水量に対して充足率 45% である。</p>		耕地面積	農家数	稲作	2015 年	501ha	469 戸	445ha	2020 年	468ha	364 戸	406ha	対 2015 年比	△33ha	△105 戸	△39ha	堤高	堤長	貯水量	満水面積	受益面積	受益戸数	被災受益	4.6m	320.0m	33.3 千 m <sup>3</sup>	1.7ha	9.2ha	48 戸	43.7ha
	耕地面積	農家数	稲作																												
2015 年	501ha	469 戸	445ha																												
2020 年	468ha	364 戸	406ha																												
対 2015 年比	△33ha	△105 戸	△39ha																												
堤高	堤長	貯水量	満水面積	受益面積	受益戸数	被災受益																									
4.6m	320.0m	33.3 千 m <sup>3</sup>	1.7ha	9.2ha	48 戸	43.7ha																									
地元の協力体制等	本事業の実施にあたっては、管理者である春日水利組合をはじめ、枚方市の協力を得ることができる。																														

